



今回は、税所篤快さんの講演会&座談会(第7回さくら塾)の報告です。

日時: 平成 28 年 12 月 3 日(土) 13:30 ~ 15:00

場所: 本校桜ヶ丘会館 3F 参加: 生徒 31 名、一般 3 名

◇ 関高生のSGH活動と税所篤快さん

今回の講師、税所篤快(さいしょあつよし)さんは、途上国で教育支援活動を行っている NGO 法人 e-Education の創設者。1 月 29 日の SGH 講演会では、税所さんの熱のこもったお話に、多くの生徒が魅了されました。税所さんの活動に刺激を受けた生徒たちは、関高祭での DDG カフェ(フェアトレードや教育支援の啓発活動)、外国人児童への学習支援活動、市立図書館での市民講座(生物多様性に関する啓発活動)など、本年度、さまざまな活動実践を試みました。活動に参加した生徒たちから、「もう一度、税所さんに会いたい、税所さんと話したい」との声が上がり、今回の講演会&座談会へとつながりました。

◇ 講演会&座談会

今回の司会及びコーディネーターは生徒代表が務めました。

前半は税所さんによる講演。バングラデシュで学校の先生が不足している現状を目の当たりにし、自身の経験から DVD による映像授業を広げる活動を始められたそうです。その後、ヨルダン、ルワンダ、フィリピン、インドネシア、パレスチナのガザ地区、未承認国家のソマリランドにまで活動を広げられているとのことでした。後半はフリートーク。生徒と税所さんとの白熱したトークが続きました。途上国で学校建設を進めているジースプレッド社の若尾守康さんも参加され(本年度 SGH 講演会講師)、有意義な会となりました。



関高生と語らう税所さん(左)



ジースプレッド社の若尾社長(右)

◇ 参加した生徒の感想(税所さんへのメッセージ)

■今回は講演及びフリートークにご参加いただきありがとうございました。司会進行に慣れておらずお手数をおかけしました。講演は前回も聴いていて二回目でしたが、今回は新たにフリートークの時間を設けることで、直接ぶっちゃけた質問をかわすことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

僕たちの研究テーマと税所さんの活動はほぼ同じで、教育面で発展途上国をサポートするためにはどうしたら良いのかを考えています。そのためには、現状を知ることがとても大切だと思います。まだ高校生なので現地についてというわけにはいかないのですが、税所さんの体験談は貴重な資料になります。

今の世界には教育格差があり、悪循環からなかなか抜け出せない国もまだあります。日本は世界トップレベルの教育が普通に受けられますが、それが当たり前でない国がほとんどです。そんな立場にある私たち先進国が、どのように発展途上国を支援するかが問題です。その方法はいろいろあると思います。例えば税所さんのように、最高の授業を受けられる環境を提供したり。若尾守康さんのようにお金を集めて学校を立てたり。自分たちは自分たちの方法で支援できると思います。グローバルな今日はそのチャンスがいっぱいあります。動き出す勇気。これさえあれば不可能を可能にできるし、自然と仲間があつまるし、また次のステップへ行けるんだと思います。今回の講演で学んだことを生かしてまた自分たちの研究をまとめていって、みんなに現状を伝えていきたいです。

■昨年に引き続き貴重なお話をありがとうございました。お話を聞くのは2回目でしたが、前回は今回もとても面白くて、聞き入ってしまいました。税所さんの行動力、本当に尊敬します。アイデアが出ることもすごいなあと思うのですが、何かしようという向上心とそれを実行できる行動力の大きさに驚きました。将来グローバルに働く職業に就かなくても、この力はきっと必要なものだと思います。

私は失敗するのが怖くて思い切った行動をすることがなかなかできません。税所さんに質問をする時も不安でとても緊張していました。丁寧に返答していただけて、ほっとしました。嬉しかったです。今日のお話で、動かないと始まらないと思いました。これから、少しずつでも積極的に行動できるよう変わっていききたいです。

■二度目のお話でしたが大変興味深かったです。思い立ってからの決断力が大切なのだと感じました。決断力があれば実行に移すことができ、それがその後の人生に関わってくる。大学では自分から行動しなければなにもできません。決断してから様々なことを調べ、時には現地へ向かうことで広がるものがあるのだと思いました。

私は、日本国内にとどまらず世界へ飛び出すことで新たに見えてくるものがあると感じました。私が、将来就きたい職業は日本国内での仕事になりますが、海外と繋がる部分もあるので日本をいかに世界に伝えるかを考えていきたいです。貴重なお話ありがとうございました

■本日はありがとうございました。私にとって2回目となる講演でしたが、改めて税所さんの行動力は流石だと思いました。いつも「これがしたい！」という明確な意志を持たれていて、それが原動力になっているのだと感じました。

1 回目の講演会での税所さんのお話をきっかけに、発展途上国での教育に興味を持ち、そのようなことを学べる大学を探し始め、先日第一志望の大学に合格することができました。大学では専門的な知識を広げることはもちろん、大学生のうちだからこそできるような様々な経験をしていきたいです。将来はビジネスで日本と途上国を繋げられるような仕事に就けたらと思っています。仕事で税所さんとまたお会いすることを目標に頑張ります！

とてもインスパイアされました。ありがとうございました。

■関高校にお越しくださりありがとうございました。とても為になる話でした。前回起こしいただいた時も思いましたが、税所さんはすごく行動力のある方だと思いました。やろうと思ったことをどんどん実現させていて、国連に入りたいというやりたいこともあってとても思いが強いんだなと思いました。

■私たちは今、発展途上国の教育状況を調べています。貧しく学校に通えない子供たちが、大きくなっても良い仕事に就けず、その子供も貧しく学校に行けず、また…というように貧しい生活から抜け出せないという状況が多いです。その状況を変えるきっかけになるように、フェアトレードなど、正当な取引をすることにより子供の労働時間を減らし、学校に行く時間を作る取り組みを調べました。また、日本に来ている外国人が日本の学校に通えるように、初期適応指導教室の設置や援助などの制度が整ってきていることも調べました。

まだまだ問題がたくさんありますが、こうして伝えていくことで、興味を持ったり問題解決に取り組んだりしていく人が増えていくといいと思いました。またこの問題に関われる機会があればぜひ参加したいです。

■私は税所篤快さんの講演を聴いて、自分の夢に突き進むかっこよさを感じました。将来国際系の仕事に就きたい僕にとってとても興味深い話でした。最も印象に残ったのは主に2つあります。

1つ目は、壁に囲まれていていつミサイルが飛んでくるかわからないガザや未承認国家であるソマリランドで活動していることです。そこは、決して安全だとは言えません。さらに暗殺予告もされたと聞いてとても驚きました。しかし、それでも学校をつくるために税所さんは活動を続けています。「教育の貧困をなくしたい」という税所さんのとても強い意志が伝わってきました。僕も将来、税所さんのように強い意志をもって働きたいです。また、僕もやっていて「面白い、楽しい」と思えることをやりたいと感じました。

2つ目は、柔軟な発想がとても大事であるということです。先生不足を解消するために塾の映像授業を取り入れたことや、村人が勉強のやる気をなくしたときに大学を見せに行ったことなどは、柔軟に考えることができなければ生み出せないと思います。日頃から多面的に物事を考えていきたいと思いました。

国際関係の仕事の視野を広げることができました。これからも夢に向かって頑張っていきます。

■講演を聞いてその実行力、実現力に心打たれました。世界に進出するにはやはり言語や文化の差があり、コミュニケーション能力などが大切になってくると思いますが、税所さんはそれ以上にこれがやりたい！というしっかりとした決意があり、信念を揺るがせないのがすごいと思いました。自分も税所さんのように夢に向かって一直線で突き進んでいきたいと思いました。

■講演は堅苦しくなく、和気あいあいととても楽しく、有意義な時間を過ごす事ができました。私は税所さんの行動力にとっても心を打たれました。そして、今回の講演で『やりたいという思い』がどんなに大事かがわかりました。税所さんも秋田大学の先生のところまで行ったことをはじめとし、どんどん前へ前へ前進して行って、発展途上国の教育に貢献していて本当に格好いいです。国連への加入頑張ってください！

私達は今 SGH の活動で発展途上国への教育支援について考えています。美濃加茂市の小学校を訪問し、外国人の子供たちに勉強を教えたりと貴重な体験もしました。税所さんの講演とこの経験を生かしてクラスの子に教育の大切さを一生懸命伝えたいと思います！

■私は税所さんのお話を初めて聞かせていただいたのですが、とても心に残るものばかりでした。私は海外に行くという経験をしたことがないので、外国のお話はとても新鮮でした。日本にも困っている人はいるけれど、外国には日本の倍以上に助けを求めている人がいるはずです。その人々を斬新なアイデアで救ったことに胸を打たれました。

失恋という小さなこと(?)から始まり、だんだん事が進むうちにスケールが大きくなっていく。税所さんはまっすぐに目の前のことを見て、問題解決のために動いていたのだと知ることができました。私も人のために何かできることを考えてこれから行動を起こしていきたいです。

■税所さんの講演を聞くのは2回目でしたが、前回とは違ってぶっちゃけトークがあり、かなり有意義な時間を過ごせました。私は今、「高校生ぶうめらん」という雑誌の編集者として活動しています。そこでは、地元で働いている人に高校生がインタビューをし、記事にする事をやっていますが、大人の方と話している途中で色々と質問したいことが思い浮かぶことがあって、それが税所さんの仰っていた「現地の人と関わるうちに色々なアイデアが思いつく」事と似ているなと感じました。楽しかったです。



税所さん(左)と司会進行の生徒3名(右)